

点検・運転チェックシート

- この「点検、運転チェックシート」は製品を安全かつ正しくご使用いただくためにご利用ください。
修理を依頼される場合には添付していただけますようお願い致します。(必要に応じコピーしてお使いください。)

機種名	使用開始年月日	製造No.(本体定格銘板下のシリアルNo.)	No.(複数台ご使用の場合)
PJ-	年 月 日		

- 電源を入れる前の点検(※点検は必ず差込プラグを電源コンセントから抜いた状態で行ってください。)

	点検箇所	点 検 内 容	点 検 日 付 / 結 果				処 置
日常の点検	外 観	破損、変形、落下痕のないこと。					修理/内部点検
	電源コード	プラグ、コード、プロテクターの損傷のないこと。					修 理 / 交 換
	フィルター	目詰まりのないこと。					清 掃 / 交 換
	内 部	異物の混入のないこと。 (本体を持ち、振った時に異音がしないこと。)					修理/内部点検
定期的な点検	ヒーター	ヒーター線の伸び、緩み、変形のないこと。					修 理 / 交 換
	マイカセット又はセラミックペーパー	焼損、剥がれ等の破損のないこと。					修 理 / 交 換
	カーボンブラシ	5mm以下にすり減っていないこと。					修 理 / 交 換

- 電源を入れて点検(※異常がある場合、または違和感を感じた場合はすぐに運転を停止し、処置を行ってください。)

	確認項目	点 検 内 容	点 検 日 付 / 結 果				処 置
電源投入後	運転音	異常音(モーター音、金属音等)のないこと。					修理/内部点検
	振 動	大きな振動がないこと。					修理/内部点検
	風の吹出し	風量、音等に変動のないこと。					修理/内部点検
	異常過熱	トッテ、電源コード、差込プラグの付け根等が過熱していないこと。					修 理 / 点 検
	その他	違和感、異常など。					修 理 / 点 検

- ご使用後は

本体を冷ます	必ず送風運転(5分以上)を行ってください。
--------	-----------------------

- その他の注意

アタッチメント	本体に対応した、指定のアタッチメントを使用すること。アタッチメントは変形、破損していないこと。
吸込口	塞いだり、空気が吸込みにくくなる状態で使用しないこと。
熱風吹出口	加熱対象物に極端に近づけたり、吹出口が塞がるような使い方をしないこと。
スイッチ操作	スイッチを頻繁に入切させない。外部から入切させるような制御は行わない。
固定運転	本体を固定したり、置いたまま運転しない。 ※無人では絶対に運転しないこと。

SURE

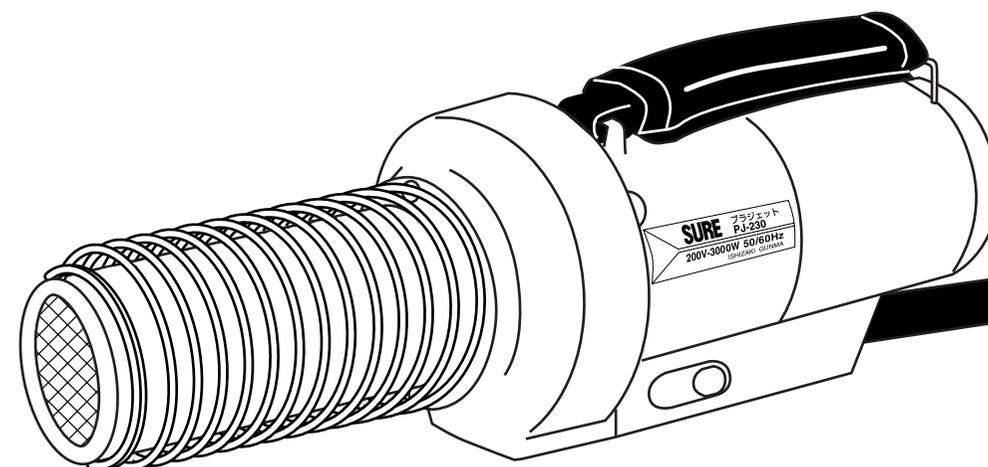
株式会社 石崎電機製作所

東 日 本 営 業 所 〒111-0051 東京都台東区蔵前3-5-15 TEL.03-5687-7031
西 日 本 営 業 所 〒550-0013 大阪市西区新町1-25-7 TEL.06-6541-3893

シュア-プラジェット
PJ-230

取扱説明書

このたびはシュア-プラジェットをお買い上げいただきまして、まことにありがとうございました。
必ずご使用前にこの取扱説明書を最後までお読みのうえ、正しくお使いください。
お読みになったあと、いつでも必要な時に取り出せるように、所定の場所に必ず保管してください。



もくじ ページ

安全上のご注意

1

各部のなまえ

3

正しい使い方

4

お手入れ方法

5

本体外観寸法図

6

仕様

6

点検・運転チェックシート

裏表紙

この製品は一般家庭用ではありません。
部品の交換は必ず修理技術者が行ってください。

安全上のご注意

●表示と意味は次のとおりです。ご使用前に、「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。ここに示した注意事項は、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や損害を未然に防止するためのものです。また、注意事項は危害や損害の大きさと切迫の程度を明示するために、誤った取り扱いをすると生じることが想定される内容を、「警告」「注意」の2つに区分しています。いずれも安全に関する重要な内容ですので、必ず守ってください。

 警告	この表示を無視して間違った取り扱いをしますと、使用者や近付いた方が死亡または重傷を負う可能性が想定されることを表しています。
 注意	この表示を無視して間違った取り扱いをしますと、使用者や近付いた方が障害を負う可能性が想定されること、また、物的損害のみの発生が想定されることを表しています。

※物的損害とは、家屋、家財及び家畜・ペットにかかわる拡大損害を示します。

●具体的な絵表示には次の意味がありますので十分に理解してお読みください。

	禁止(してはいけないこと)を示します。 具体的な禁止内容は、図記号の中や近くに絵や文章で指示しています。
	強制(必ずすること)を示します。 具体的な強制内容は、図記号の中や近くに絵や文章で指示しています。

警告

●人や動物、燃えやすい物などに使用しない。 火災、感電、やけどなどの原因となります。		●火薬、揮発性、燃えやすい物のある所では使用しない。 爆発、火災の恐れがあります。	
●ヘアードライヤーとして使わない。 やけど、火災の原因となります。		●水中や水につけたり、水をかけたりしない。 漏電やショートし、感電の原因となります。	
●修理技術者以外の人は、絶対に分解・修理は行わない。 また、改造はしない。 感電、発火や異常動作してけがをすることがあります。		●子供だけで使わせたり、幼児の手の届く所では使わない。 やけど、感電、けがをすることがあります。	

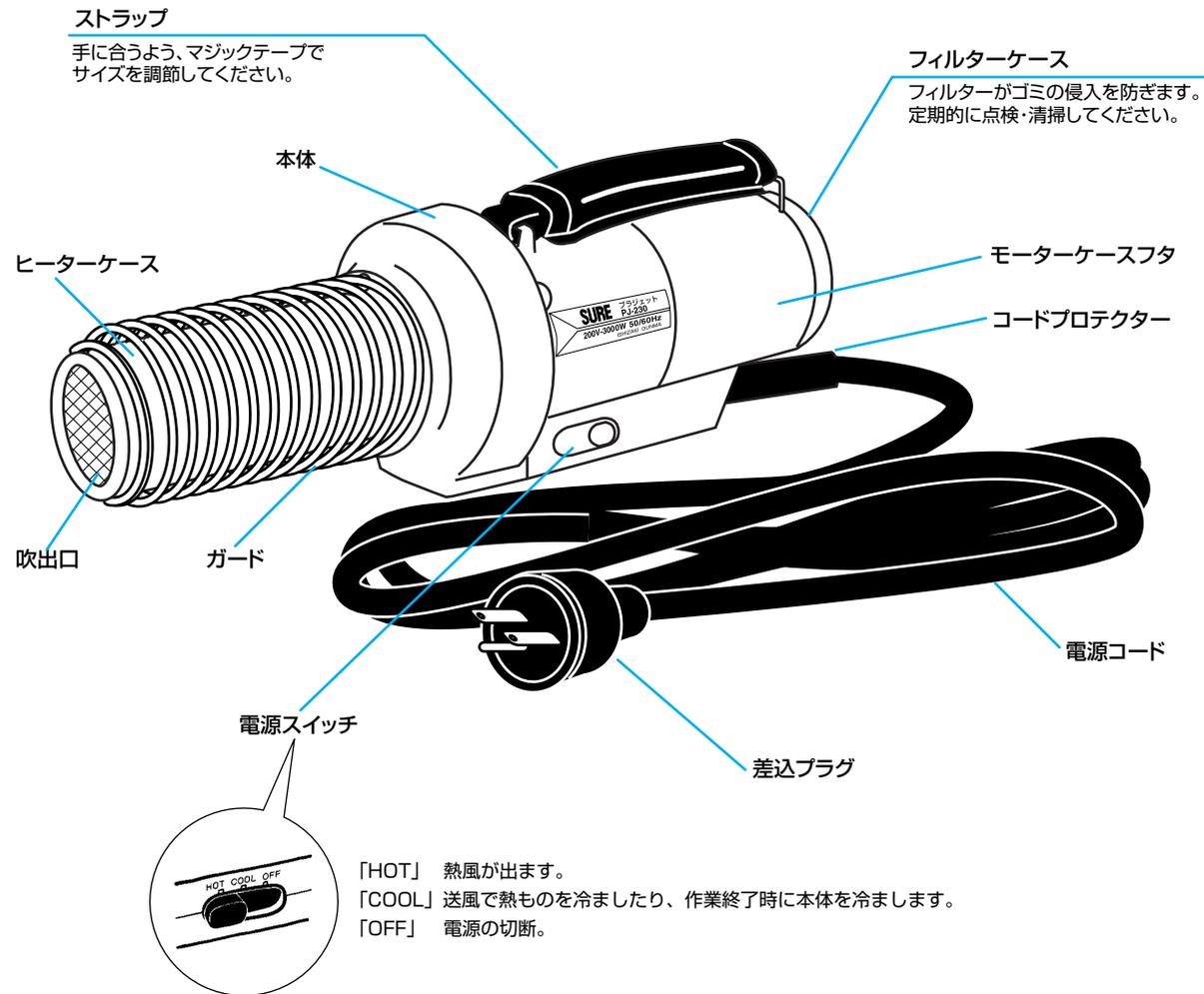
注意

●本機の使用目的以外に使用しない。 火災、感電、やけどなどの原因となります。		●落下などにより破損した場合は、差込プラグを抜き修理を行う。 感電、火災事故の原因となります。	
●使用中や使用直後はヒーター周辺部に触れたり、燃えやすい物に近づけたりしない。 やけど、感電、火災の原因となります。		●指定電圧以外では使用しない。 火災、感電の原因となります。	
●本機の吹き出し口や吸入口をふさいだり、異物を投入しない。 モーターやヒーターが異常発熱し火災の原因となります。		●部品交換の時は、必ず差込プラグを抜き、本機及びヒーター部分が冷めてから行う。 感電、やけどの原因となります。	
●使用後はすぐに電源を切らない。必ず冷風運転を行い、本機を冷ます。 ヒーターの熱によりモーターが損傷したり、各部の寿命が著しく低下し、感電、火災の原因となります。		●差込みプラグを抜くときは、電源コードを持たずに、必ず先端の差込プラグを持って引き抜く。 感電、ショート、発火の原因となります。	
●使用直後に密閉された箱や引き出しの中に入れない。 火災の原因となります。		●使用時以外は、差込プラグを必ずコンセントから抜く。 けが、やけど、絶縁劣化による感電、漏電、火災の原因となります。	
●通電したまま床上や机などに放置しない。 火災、やけどの原因となります。		●電源コードや差込プラグが傷んだり、コンセントの差し込みが緩いときは使用しない。 感電、ショート、発火の原因となります。	
●電源の開閉は頻繁に行わない。 スイッチやモーターの負担が大きくなり、著しく寿命が低下し、火災、感電、通電不良の原因となります。		●電源コードを傷つけたり、破損したり、加工したり、無理に曲げたり、引っ張ったり、ねじったり、たばねたりしない。 コードが破損し、火災、感電の原因となります。	
●指定以外のアタッチメントを使用しない。 アタッチメントの改造や指定以外のアタッチメントの使用は、故障、火災、やけどの原因となります。		●濡れた手で差込プラグを抜き差ししない。 感電事故の原因となります。	
●据え付けて連続運転を行う場合は必ず周辺の安全を確認し、定期的に本機の運転状況を確認する。 火災、感電、やけど等の原因となります。		●部品交換は必ず定期的に行う。モーター、モーターブラシ、ヒーター、セラミックペーパーなどは定期的に交換する。 火災、感電、やけど、通電不良などの原因になります。	
●使用中に布やシート、ビニールなど空気をさえぎるものをかけない。 火災の原因となります。		●保管するときは必ず本機を冷まし、差込プラグを抜く。 火災の原因となります。	

お願い

- 連続運転で使用する場合は、本機の状態や周辺機器の環境を十分に把握し、つねに安全を確認しながら運転してください。
※周辺機器の環境とは本機の設置場所、生産ラインなどのベルト稼働状況などをいい、周辺機器に異常が発生した場合の回避方を必ずとってください。
- 本機は一般的な作業条件のもとで使用する工具であり、高温多湿地域や高地、寒冷地などでは十分な性能が発揮できない場合があります。
- ヒーター、モーター、モーターブラシ(交換タイプ)などの消耗部品は定期的に修理技術者によって、指定の部品で交換してください。(ブラシ交換は3回程度としてください。)また、フィルターは定期的に清掃をしてください。異常発熱したり、本機の故障の原因となります。
- 必ず修理技術者によって定期点検を実施してください。

各部のなまえ



■付属品



正しい使い方

1) 電源を入れる

- ①電源スイッチが「OFF」になっていることを確認します。
 - ②差込プラグを正しく配線された200V専用コンセントに差し込みます。
 - ③スイッチを「HOT」にします。
 - ④温風温度は4～6分で最高温度に達します。
- 注意: 1) 他の電圧では使用できません。
2) 配線工事は必ず行ってください。



2) 作業をする

- 加熱しようとする物に近づけ、適切な距離を保って、均一に熱風をあてます。
- 注意: 1) 局部的に加熱すると亀裂を生じる事があります。また、吹出口を加熱するものに接触させたり、近づけすぎないでください。加熱するものが焦げたりすることがあります。
2) ストラップに指をしっかりと入れ、落とさないようにしてください。
3) 連続運転で使用する場合は、本機の状態や周辺機器の環境を十分に把握し、つねに安全を確認しながら運転してください。
4) ATシリーズのアタッチメントの取り付けはできません。

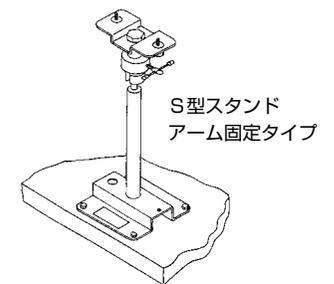
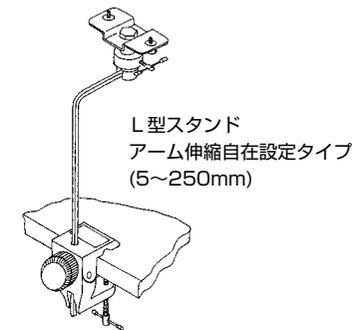
3) 作業を終了する

- ①スイッチを「COOL」にし、3～5分送風して高温になった本体内部を十分に冷まします。
- ②本体がよく冷めたら、スイッチを「OFF」にします。
- ③差込プラグをコンセントから抜きます。

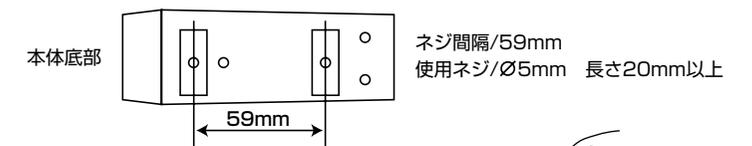


■スタンド(別売品)の使用

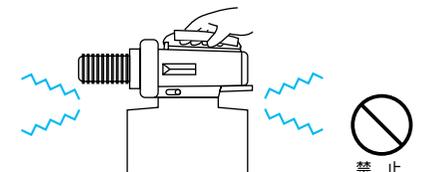
- ①本体を固定して使用するときはL型・S型スタンドをご使用ください。



- ②他のものに固定するときは本体の底部にある取り付けネジ穴を利用してください。



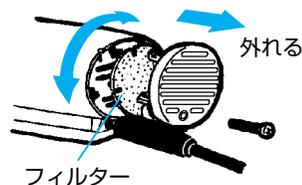
- 注 意・取り付けネジは本体の固定用であって、何らかの器具に取り付け、ストラップで本体とも持ち運ぶことは行わないでください。ストラップや本体が破損します。



お手入れの方法

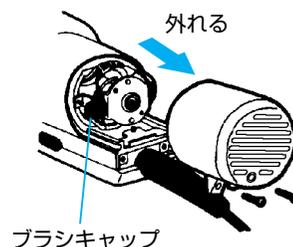
1) フィルターの清掃/交換

- ①定期的に清掃を行ってください。
- ②フィルターケースのネジを外し、左に回すとフィルターが交換できます。
- ③ホコリはよく叩いて落とし、油性の汚れは中性洗剤で洗って、乾燥後本体に取り付けてください。



2) モーターのカーボンブラシ点検/交換

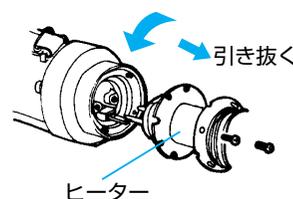
- ①月に1~2度点検を行い、400~500時間経過したら、ブラシを交換してください。
- ②フィルターケース、モーターケースフタの順に外します。モーターケースフタはコードプロテクター両サイドのネジ2本を緩めて外します。
- ③モーター後部両サイドのブラシキャップを外すとブラシが取り出せます。
- ④ブラシの長さ3mm以下が交換の目安です。
- ⑤ブラシ交換の回数は3回程度までとし、その後はモーターを交換してください。



- 注意・ブラシは2本同時に交換してください。
・ブラシの交換をせずに使用し続けるとモーターの破損が発生します。

3) ヒーターの交換

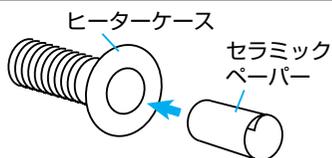
- ①ヒーターケースの2本のネジを外し、左に回すとヒーターが出ます。
- ②ヒーターの根元を持って引き抜きます。
- ③新しいヒーターを挿入します。
ヒーターケースはネジ穴に合わせ、本体に押しつけるようにし、右に回します。
- ④ヒーター交換のときに、ヒーターケース内のセラミックペーパーの交換を行うことをおすすめします。



- 注意：パッキン、セラミックペーパーなどを忘れないように取り付けてください。

4) マイカの交換

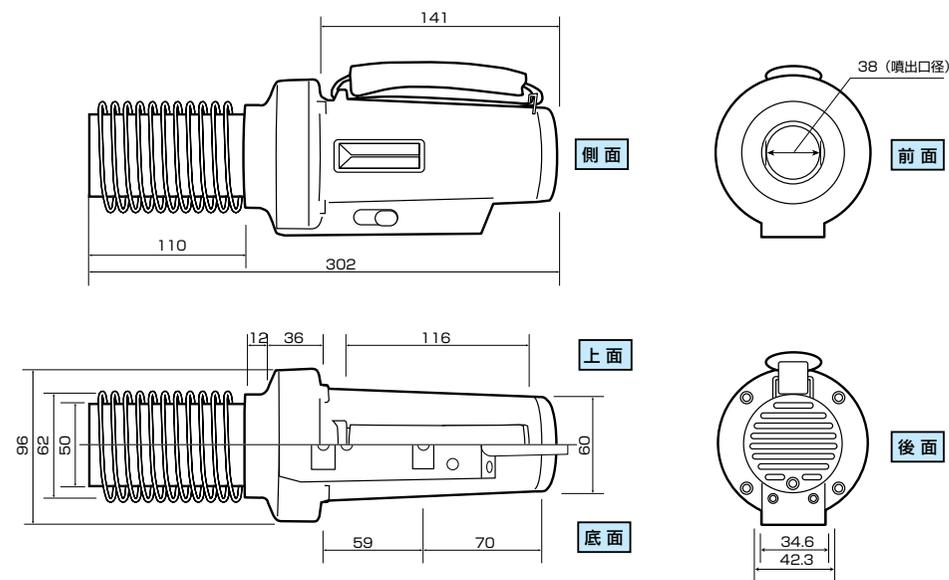
- ①ヒーターケースの2本のネジを外すと、ケース内のセラミックペーパーが交換できます。
- ②ヒーター交換を行うときに、セラミックペーパーを交換することをおすすめします。



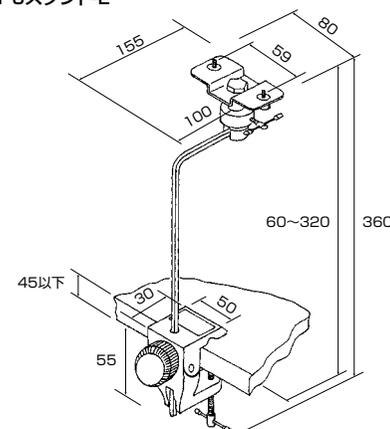
■消耗部品一覧

フィルター(1個)	カーボンブラシセット(2個)	ヒーターセット(ボビン付き)	セラミックペーパー(1枚)
○	○	200V-3000W	○

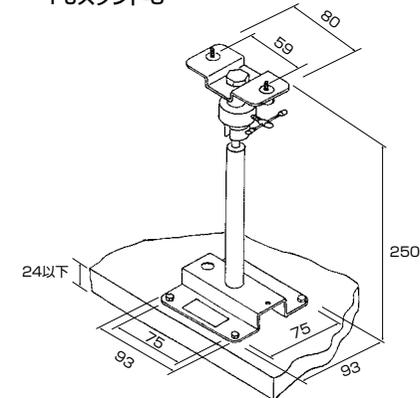
本体外観寸法図



PJスタンド-L



PJスタンド-S



仕様

定格消費電力	200V-3000W 50/60Hz
スイッチ	スライド式3段切り換えスイッチ (HOT・COOL・OFF)
温風温度	約600℃
温度測定位置	吹き出し口より10mm
風速	450m/min
風量	0.51m ³ /min
電源コード	2.0 ^φ mm3芯キャプタイヤコード
電源コード有効長	約3m
寸法本体径×長さ×高さ	96×302×96(mm)
質量(電源コード除く)	約1.2kg
付属品	交換用フィルター1枚 交換用ブラシ(2本)1組 専用タップ1個